

令和3年度第2回久留米市生涯学習センター運営委員会

日 時	令和4年3月22日(火) 10時00分～11時00分
場 所	えーるピア久留米 301・302学習室
出席委員	川島委員、木下委員、鳥越委員、行徳委員、池田委員、空閑委員、佐藤幸委員、藤木委員、高木委員、坂井委員、佐藤晶委員、佐藤あ委員
欠席委員	井上委員、吉田委員、樋口委員、菊竹委員
事務局	(生涯学習推進課) 豊福、伴、廣木 (指 定 管 理 者) 眞崎、立石
傍 聴 者	なし

次第	内容等	
1～2	進行：事務局	1. 開会 2. 委員長あいさつ
3	進行：委員長	3. 議事
	説明：事務局	(1) 令和3年度事業報告について
	委員①	基本料理講座について、目的が「家庭での積極的な家事参加と自立を図る」とあるが、男性コースは昼間しかなく、目的を達成するのは難しいのではないかと思う。夜間にも受講できればと思うがどうか。
	事務局	基本料理講座については、夜間についてはどなたでも参加できるようになっている。男性コースを料理の入口として、その後一般のコースに流れていくような形となっている。ただご指摘のとおり、男性コースについても夜間の開催を検討していきたいと思う。
4		4. その他
	説明：事務局	(1) 令和4年度事業計画の概要について
	委員①	子どもの居場所作り事業について、夏休み期間に設定しているようだが、午前中の2時間だけでは不十分のように思う。午後まで設定して、料理作りをするなどしたら、子どもの今後のためにもなると思うが、そういった事業の計画の考えはあるか。
	事務局	子どもの居場所作り事業については、夏休みに学童保育所などに行けない子どもたちが、えーるピアで勉強したり一緒に遊んだりといった事ができないか、というところからスター

		トしている。午後まで通して事業展開できれば一番いいのだが、そこまでの体制がまだ出来ていないのが現状である。従事していただくボランティアや先生のOBの方などが確保できるようにになれば、事業の展開はできると思っている。
委員②		この居場所作り事業が、定員15人という設定になっているのは、ボランティアなど従事できる人員によって決めているのか。
事務局		従事できる人員もあるが、部屋についても、空室を活用しているので、密にならないように15人という定員を設定している。広げれば広げられるだけできればいいのだが、部屋の空き状況なども加味しながら行う事業なので、この人数設定となっている。
委員①		えーるピアだけで大きな仕組みにしていくのは大変難しいであろうことは理解している。今後、例えばコミセンなどと提携して事業を展開していくような考えはあるか。
事務局		この事業について、この場で多くの意見をいただいた。今後参加希望者など、事業の拡大を望む声が大きくなっていくようであれば、いろいろな機関やボランティアの方々などと、一緒に検討を行っていききたい。
説明：事務局		(2) 令和3年度新型コロナウイルス感染症に伴う、えーるピア久留米開館・利用制限の経過について
		質疑なし
説明：事務局		(3) 次回の運営委員会について
		質疑なし
		その他
委員①		ある施設で、多目的トイレで不具合が生じ、利用されていた方が中に長時間閉じ込められて、そのまま亡くなっていたという報道があった。えーるピアにも多目的トイレがあるが、こういった事故を防ぐ対策は行っているか。
事務局		以前から定期的に設備業者が呼び出しボタンの点検などは行っている。報道以降、警備員の巡回中、また、清掃業者にもお願いをして、多目的トイレの確認を行うようにした。職員についても、館内のトイレをまんべんなく使用することで、各個室と多目的トイレをチェックするような体制作りにも努めている。

	委員①	えーるピアの警備員について、従事している方が男性のみである。えーるピアの利用者の半数が女性であると思われるので、警備員についても女性の配置をお願いしたい。
	事務局	警備については警備会社に委託しているが、性別で限定して業務委託はしていない。現在は男性であるが、今後女性が配置される可能性もある。館内で女性の対応が必要であれば、職員には女性もいるので、声をかけていただければと思う。
	委員①	あらゆる仕事と同じように、警備員の構成として、男性と女性の両方がいるという事がとても大事だと思っている。そういう意味での意見として発言させていただいた。
	委員③	警備員については、実現可能かどうかは別として、一度委託先に女性の警備員を希望する旨のお願いをしてみたいか。
	事務局	いただいた意見を踏まえ、一度委託業者へ相談を行ってみる。
閉会		